横地小だより

令和8年11月2日 No.7
菊川市立横地小学校

～学びの充実期 第3ステージ～　**「人」と関わり 学びを深める 横地っ子**

本校は全校児童 106 名、全学年1クラスの小規模校です。アットホームで温かい環境がある一方、子供たちが将来社会へ羽ばたくためには、多様な人と出会い、考えを交わし、視野を広げる経験が欠かせません。だからこそ、本校では、学校の枠を飛び出し、地域や異年齢の「人・もの・こと」と積極的に関わる学びを大切にしています。10 月は特に、小・中・高校生と多様な「人」との深い関わりを通して、子供たちの表情や学びに素敵な変化が見られました。

小笠高校との交流　～2年～



高校生と一緒に大根の種蒔きをしました。ペアの高校生が絵を見せながら優しく丁寧に教えてくれ、子供たちは大張り切り。「大きい大根になるといいな」「また一緒に収穫しようね」 と笑顔で言葉を交わしていました。年上の高校生に見守られ、温かく接してもらう体験は、子供たちに安心感と「お兄さん、お姉さんのようになりたい」という憧れの気持ちを育みます。

内田小との交流　～5年～



内田小5年生と今年度2回目の交流会を行いました。今回は内田小を訪問し、前半は防災学習で災害時の自助・共助について共に考え、 後半は学校探検やイントロクイズで親睦を深めました。同年代の新しい仲間と思いを交わし合うことで、『自分たちとは違う考えや工夫』に出会い、大きな刺激を受けます。少人数だからこそ、こうした他校との交流が広い視野とコミュニケーション力を育む貴重な機会となっています。

菊西中との交流　～6年～



菊川西中学校の生徒6名が職場体験で本校を訪れました。2日目には、6年生に向けた「菊西中紹介」の授業を実施。中学校生活や行事についてプレゼンしてもらい、6年生からの質問にも丁寧に答えてくれました。身近な先輩から直接話を聞くことで、進学への不安が『楽しみ・期待』へと変わる表情が見られました。少し先の自分の姿を重ね合わせ、未来の見通しをもつ大切な時間となりました。

学校の中だけでは得られない「豊かな経験や学び」は、こうして関わってくださる地域の皆様や他校の児童生徒・先生方のおかげで成り立っています。これからも横地小は、『地域に開かれた学校』として、子供たちが多様な「人・もの・こと」と出会い、豊かに成長できるよう取り組んでまいります。今後とも温かい御支援をよろしくお願いいたします。

【校長　平野 理枝子】